

フェスタで住民と交流

生活介護事業
所「らぼくと」
模擬店やステージで

富士宮市淀師の生活 介護事業所「らぼくと」



C-STARスタジオのチアダンス

で3日、第2回らぼくとフェスタが開かれた。会場は地域住民や関係者などでにぎわった。

地域住民

との交流を図り、施設や利用者への理解を深めてもらおうと昨年から開かれていたもので、施設駐車場では富士特別支援学校富士宮分校や市内の福祉施設・団本、らぼくと



多くの人でにぎわう模擬店

と利用者の保護者会らが模擬店を開き、焼き芋やたこ焼き、パンなどを販売。富士宮四中、富士宮東高校の生徒も手伝い、利用者や保護者、地域住民が買い物などを楽しんだ。

屋外ステージでは富士小児童や富士市のチアダンスグループ「C-

STARスタジオ」らが歌やダンスを披露。利用者の中には体全体を使ってリズムを刻んで楽しむ人もおり、利用者自らも車いすダンスなどを披露し、来場者を魅了していた。